

比布町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕地面積に占める水稲作付面積が約 70%で、うち主食用米面積の割合が約 55%、非主食用米が約 15%となっており、一般転作率は約 30%となっている。転作作物に占める小麦、大豆、そば、小豆、飼料作物の割合が多く、土地利用型作物の担い手への集積や作業受託の割合が増えている。主食用米の需要が減少する中で、他の作物の作付に転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

また、農家の高齢化も進んでおり、農家戸数の減少が見られ、畑作物の作業受託の割合も拡大しており、水稲作付面積の維持が課題となっている。併せて、離農等により更なる担い手の規模拡大が進むため、生産に偏重が見られ、作物の安全性等も懸念されている。

そのほか、麦、大豆、そば、小豆については、排水不良や連作障害等の不適正等により単収の低下を招いており、是正が必要になっている。

2 作物ごとの取組方針

町内約 2,125ha の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図る。

(1) 主食用米

売れる米づくりの徹底によって米の主産地としての地位を確保する。前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。また、中食・外食のニーズに対応した業務用米の生産と安定取引の推進を図る。

(2) 非主食用米

ア 加工用米

産地交付金を活用しつつ、実需者との結びつきを強化しながら生産の拡大を図っていくこととし、これまで取り組んできた冷凍米飯等に加え、味噌・焼酎・穀粉等の低価格帯需要も含め、幅広い需要を確保し、安定供給に向けた生産を推進する。

イ 備蓄米

これまで、主食用米及び加工用米と併せ、需要に応じた生産を行ってきたが、加工用米への需要が拡大していることから、生産を縮小し、加工用米への転換を図る。

ウ WCS用稲

主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用稲を転作により、水張転作の確保に努める。産地交付金を活用した団地化の推進や作業組織において集約的に作業を行うなど省力化の取り組みを推進し、生産拡大を図る。

エ 飼料用米

作付実績はないが、主食用米の需要減が見込まれる中、今後の需要の確保が期待できる品目であり、地域の水張転作確保のため、非主食用米における新たな取組として位置付け、産地交付金の活用により推進する。

オ 米粉用米

本町は作付実績がないため、今後需給などの動向を見極め慎重に検討する。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦、大豆については、作業受託による作業の効率化と団地化を推進するとともに、輪作体系の確立及び排水対策等ほ場条件の改善によって生産性・品質向上を図り、平成30年においても生産面積を維持する。

なお、飼料作物においては、生産性向上等の取組を推進する。

(4) そば

作業受託による作業の効率化と団地化を推進するとともに、排水対策等ほ場条件の改善によって生産性・品質向上を図り、実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。

(5) 野菜・花き・種苗

本町の顔である特産品の「いちご」と多収穫で高齢農家に作付が適した「丸さやいんげん」を特に振興野菜とし、作付を拡大する。

また、地域振興作物として別表1の作物を振興する。

(6) 不作付地の解消

現行の不作付地（39.8ha）について、平成30年に向け約2割（8.0ha）を地域振興作物の作付により解消する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 28 年度の作付面積 (ha)	平成 29 年度の作付予定面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	1164.5	1153.6	1153.0
加工用米	93.9	333.3	347.0
備蓄米	209.4	0.0	0.0
WCS用稲	24.8	25.3	25.0
飼料用米	0.0	0.0	5.0
麦	72.6	67.2	73.0
大豆	100.3	103.2	105.0
飼料作物	175.8	171.4	163.0
そば	74.9	77.6	78.0
その他地域振興作物			
小豆	19.4	18.2	20.0
花き	3.0	2.7	3.2
種苗	0.3	0.3	0.3
野菜			
・いちご	4.0	4.5	4.6
・丸さやいんげん	0.6	0.6	0.8
・千本ネギ	3.5	3.5	3.7
・大根	0.6	1.6	0.8
・メロン	1.9	1.3	2.1
・トマト	1.0	1.0	1.2
・きゅうり	1.1	1.2	1.2
・ほうれんそう	0.7	0.6	0.7
・みずな	0.8	0.7	1.0
・かぼちゃ	31.6	32.7	33.5
・みつば	1.0	1.4	1.4
・アスパラガス	2.9	3.0	3.2
・平さやいんげん	0.2	0.2	0.2
・オクラ	0.3	0.4	1.0
・その他野菜	2.9	2.0	2.0
地力増進作物	69.2	57.8	40.0

4 平成 29 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 28 年度 (現状値)	平成 29 年度 (目標値)	平成 30 年度 (町任意の目標値)
1	小麦 大豆 小豆 そば	作業委託	イ	実施面積	258.9ha	260.2ha	262.0ha
2	小麦 大豆 小豆	輪作体系の確立	イ	実施面積	76.8ha	77.0ha	80.0ha
3	小麦 大豆 小豆 そば	ほ場条件の改善	イ	実施面積	235.1ha	236.6ha	240.0ha
4	小麦 大豆 小豆 そば	団地化	イ	実施面積	260.1ha	261.7ha	264.0ha
5	加工用米 WCS用稲 小麦 大豆 小豆 そば	担い手による 計画的生産	イ	実施面積	379.1ha	462.4ha	480.0ha

※分類欄

ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組

イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組

ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組